

環境省「プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウム」にて、 マイクロプラスチックの環境動態評価に向けた取組を紹介

株式会社三菱ケミカルリサーチは、環境省が開催する「令和 8 年度 プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウム」に出展し、マイクロプラスチックの環境動態評価に向けた当社の取組を紹介します。本シンポジウムは、海洋等におけるプラスチック汚染に関する最新の研究動向や対策事例を共有し、今後の対策推進に向けた課題や展望を議論することを目的として開催されます。

今回の出展では、OECD Test Guideline 120（ポリマーの水中における溶解／抽出挙動）を基盤とした、マイクロプラスチックの水中挙動評価への適用可能性を取り上げます。

<シンポジウム>

令和 8 年度 プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウム

（2026 年 9 月 28 日、御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター（対面・オンライン開催））

環境省 | [令和 8 年度プラスチック汚染とその対策に関するシンポジウムの開催について](#)

<発表概要>

➤ マイクロプラスチックの環境動態評価

～OECD 120（ポリマーの水中における溶解／抽出挙動）試験の適用～

海洋プラスチック汚染やマイクロプラスチックによる環境影響への関心が高まる中、ポリマーの環境中における挙動を適切に把握するための評価手法の整備が求められています。OECD TG120 は、ポリマーを水と接触させ、水相画分と粒子画分を分離することで、ポリマーの水中における溶解・抽出挙動を評価する国際的な試験法です。海外では、EU のマイクロプラスチック規制における水溶解度の評価や、カナダの新規ポリマー審査における水抽出性評価および追加試験の要否判断に、OECD TG120 が活用されています。今回の出展では、OECD TG120 を基盤としたマイクロプラスチックの水中挙動評価への適用可能性に着目し、海外における活用事例とともに、当社の高分子安全性評価技術を活かした基礎的知見の取得や、マイクロプラスチックの生分解性評価、生物蓄積性評価に向けた今後の展開についてご紹介します。

🔍 当社の提供サービス

環境影響評価試験

https://www.mitsubishichem-res.co.jp/psa/env_test.html

💬 お問い合わせ

株式会社三菱ケミカルリサーチ 製品安全評価部門

<https://www.mitsubishichem-res.co.jp/psa/contact/>